あきた国際フェスティバル２０２２
報告書

1. 事業概要

（１）開催日時　２０２２年１０月２日（日）10：00～16：00
（２）場　　所　秋田拠点センターアルヴェ
　　（秋田市東通仲町４－１）
（３）主　　催　公益財団法人秋田県国際交流協会
（４）共　　催　秋田市
　　独立行政法人国際協力機構東北センター

2. 県民参加の促進

■合計　1,383人
（来場者 1,190人：ブース・パフォーマンス関係者136人：スタッフ・ボランティア57人）

県民が気軽に参加できるよう、交通アクセスの良い秋田駅隣接の秋田拠点センター「アルヴェ」を会場に、一定の入場制限や主会場を「きらめき広場」と「多目的ホール」に分散するなどの新型コロナ感染防止対策を徹底しながら３年ぶりに開催することができた。

ワールドブースやステージパフォーマンス、ボランティアには高校生や留学生の参加も促したことにより、幅広い国・地域・年齢層の県民が本フェスティバルに集まった。本フェスティバルは、多くの県民が県内の国際交流団体の活動や在住外国人による母国紹介などを通じて異文化に触れ、国際交流や国際理解、多文化共生への関心を引き出す絶好の「場(機会)」となった。

3. ワールドブース

在住外国人による母国・文化紹介や国際交流団体による活動紹介が行われるワールドブースでは、各ブースを回りクイズに答えるスタンプラリーが実施された。多くの来場者が出展者と楽しく触れ合い、マスク越しではあったが沢山の笑顔が広がった。

■出展＝３３団体 ／バニヤンツリー（バングラディッシュ）、ベトナム留学生、バハィクーボ（フィリピン）、ウィジャヤクスマ（インドネシア）、韓国、秋ネパ友好協会（ネパール）、フィジー、ドイツ、ロシア、アメリカ、メキシコ、マダガスカル、ボツワナ、秋田高専留学生グループ（ベトナム、モンゴル、ブルネイ、ウガンダ、マレーシア、カンボジア）、ヒッポファミリークラブ、秋田ボーダーレススピーカーズ、秋田県日中友好協会・女性委員会、秋田県人権擁護委員連合会、日本国際連合協会秋田県支部、秋田ユネスコ協会、青年海外協力隊秋田県ＯＢ会、ガールスカウト秋田県連盟、日本語教室ニジアス、チャリティーアキタ、国際交流オープンクラス、大仙市国際交流協会、秋田市、秋田市姉妹都市等（米国セントクラウド市・キナイ半島郡、中国蘭州市・南寧市、ドイツパッサウ市）、JICA東北　　※順不同

4. ステージパフォーマンス

様々な国の伝統舞踊や演奏、文化紹介などを行うステージでは、普段なじみのない各国の歌や踊りなどが披露され、参加者も手拍子したり、飛び入り参加するなどして異文化体験を楽しんだ。特に在住外国人によるパフォーマンスについては、母国の伝統文化を伝える活躍の場となっただけでなく、日々の練習により同じ出身者同士の絆を深める機会にもなった。

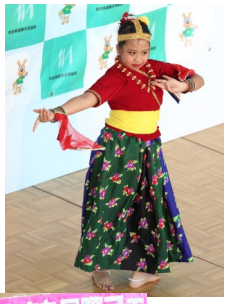
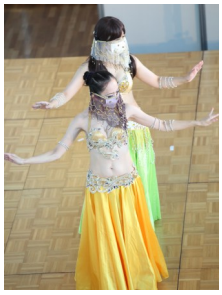
■出演＝７団体

- スコットランドのバグパイプ演奏
- 海外での国際協力活動に関するクイズ（青年海外協力隊OB会）
- ベリーダンス
- ベトナムのバンブーダンス
- ネパールの民族舞踊
- 「みんなで使おう『やさしい日本語』（やさしい日本語について学ぶ劇）
- インドネシア伝統舞踊

※出演順

■その他

- ブース出展者インタビュー

5. 秋田市

友好・姉妹都市等である中国・蘭州市・南寧市、ドイツ・パッサウ市、米国・セントクラウド市、米国・キナイ半島郡の写真展示を行ったほか、ブースでは各都市との交流事業や文化等に関する紹介を行い、来場者が理解を深める機会となった。

6. JICA

３年ぶりの秋田での実地研修となったJICA青年研修事業（アフリカ５カ国・農業）の写真展示を行い、秋田での国際協力事例を紹介した。また東北出身者の海外協力隊パネル、協力隊活動時の写真展示等を行い、秋田と世界が身近に感じられる機会となった。

7. AIA

外国人相談センターやＡＩＡコミュニティサポーター制度、あきたのファミリーなどの事業のほか、毎週木曜日に協会内で開催しているInternational Day（国際交流員などとの交流サロン）などの紹介を行った。